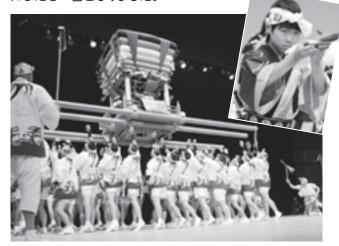
もよおし

開催されたイベントや講座などを写真で紹介!!

ふるさとの宝を伝える

地域の伝統芸能を披露する「長崎郷土芸能大会」を公会 堂で開催。今年は「長崎しゃぎり」「馬場本浮立」「鍬踊獅子 舞」「横尾だんじり」「矢上町コッコデショ」の5団体、620人 が出演しました。観客は勇壮な演し物や華やかな踊りなど に見入り、大きな掛け声が出る場面も。伝統芸能の魅力 にひたる一日となりました。



さわやかな汗を流しました

体育の日の14日、市民体育・レクリエーション祭が市総合 運動公園かきどまり陸上競技場などで開催されました。 市民約9,000人が参加する市内最大のスポーツイベント で、競技の部では38種目が行われました。秋空のもと、選 手たちは日頃の練習の成果を発揮し、試合後は互いの健 闘を称えました。レクリエーションの部も15種目が行わ れ、スポーツチャンバラなどで親睦を深めました。



居留地の魅力 再発見!

幕末から明治にかけて西洋文化が華ひらいた東山手、南 山手、大浦地区一帯で「長崎居留地まつり」を開催。天気に も恵まれ、毎年恒例の居留地大バザール、居留地時代の ボウリング体験や赤ちゃんはいはいレースなどを多くの人 が楽しみました。旧グラバー住宅築150年の今年は、魅力 をさらに発信していこうと記念シンポジウムが開かれ、居 留地のシンボルである同住宅の価値を見つめ直しました。



2 楽しさ美しさに拍手"かっさい"!

伊王島ふれあい広場で[ながさき半島ごかっさい]が開催 され、ステージイベントのほかに、V・ファーレン長崎によ るサッカー教室や宮崎県高千穂町の伝統芸能「夜神楽」な ど、訪れた人は多彩なイベントを楽しみました。恒例の大 花火大会では、空から降ってくるかのような5,000発の光 の芸術に観客は歓声を上げながら酔いしれていました。

